



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより



ためし

○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える



令和7年6月9日号 文責 上久木田 雄二



むし歯のこと



私は、夜の歯磨きを20分くらいします。歯医者から指摘を受けた部分を中心に、ていねいに磨くことにしています。すると自然と時間がかかるのです。

私の歯磨きのくせなのか、右下の裏側が特に磨き残しが多いと言われます。また、欠損歯がある部分の周囲が十分に歯ブラシが届いていないようです。

本来は、歯間ブラシも毎日使用したほうがいいと言われています。歳を重ねたせいで、歯茎が下がり、歯と歯の間の隙間が増えているので、食べ物かすが詰まりやすいという歯医者の助言があるのです。

そのかいあって、ここ20年間ほどは、私のむし歯0（ゼロ）は続いています。

正直に言えば、残念ながら歯間ブラシは、週に2回程度の取組になっています。

ところで、学校の歯科検診が終わり、養護教諭がその結果をまとめています。一人一人の検診結果に目を通しました。

数名の未検者がいるものの、いくつかの傾向が見えてきます。



HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」



傾向①

継続してむし歯がある。

傾向②

むし歯の有無に兄弟関係の相関はない。

傾向③

むし歯無しの子どもも継続している。



3つの傾向から、本校の課題を考えてみました。

課題①

歯磨きの習慣が、身に付いていない子どもがいること

(これは個別課題です)

課題②

むし歯の治療に対して意識が薄いこと

歯磨きにはくせがあります。学校での歯磨きの姿を見ていれば分かります。歯ブラシの向きを器用に変えながら、1つの歯の全体を磨こうとする子どもがいます。その一方、無意識に歯ブラシを前後左右に動かすのみの子どももいます。

むし歯は治療しなければ治らない病気です。身体全体の病気につながる危険性があります。でありながら、初期の虫歯は、痛みを伴わないので、治療が後回しになりがちです。治療勧告がありましたら、ぜひ受診ください。